

2019年5月10日

各 位

フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：取締役 上席執行役員 千田 高
電 話 番 号：(03) 6456-4600

第2四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2019年9月期第2四半期連結累計期間（2018年10月1日～2019年3月31日）における業績につき、業績予想をしておりませんので、前年同期との対比について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年9月期第2四半期連結累計期間（2018年10月1日～2019年3月31日）業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期実績 (A)	1,713	△610	△706	△414	△2.53
今回発表業績 (B)	3,277	△1,467	△1,567	△1,244	△6.50
増減額 (B-A)	1,564	△857	△861	△830	—
増減率 (%)	91.3	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間には、北欧のライフスタイルを体験できる「メッツァビレッジ」が2018年11月9日に、ムーミンの物語を主題とした「ムーミンバレーパーク」が2019年3月16日に開業しました。これらの開業の他、2018年9月期第2四半期以降の子会社増加も寄与して売上高は3,277百万円（前年同期比91.3%増）となったものの、メッツァの商品・材料仕入と諸費用、労務費のほか、子会社増加、企業投資の減損による営業投資有価証券評価損360百万円により売上原価が増加して、売上総利益は950百万円（前年同期比2.0%減）となりました。販売費及び一般管理費は、メッツァ関連の人件費、広告宣伝費、その他諸費用が増加し、子会社増加の影響も受けて2,418百万円（前年同期比53.0%増）となった結果、営業損失は1,467百万円（前年同期は610百万円の損失）、経常損失は1,567百万円（前年同期は706百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、非支配株主に帰属する四半期純損失339百万円により1,244百万円（前年同期は414百万円の損失）となりました。

以 上